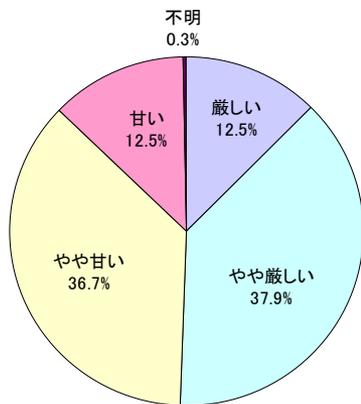


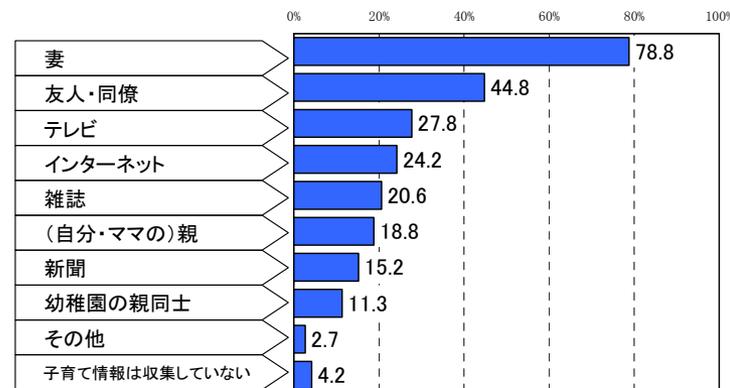
園の行事には9割近くが出席し、8割超がママの息抜きのために子守り

幼稚園児を持つ父親に、子育てについて聞いた。しつけに関しては前年は、子どもに「甘い」「やや甘い」園児パパが57.8%だったが、今回は49.2%に減少。「甘い派」と「厳しい派」が拮抗している(グラフ①)。子育て情報は妻や友人・同僚など身近な人から得ている(グラフ②)。子育てを巡って周囲の人とコミュニケーションしているパパの姿が浮かび上がる。日常の育児については、パパはもっぱら「遊び」と「お風呂」担当だ(グラフ③)。

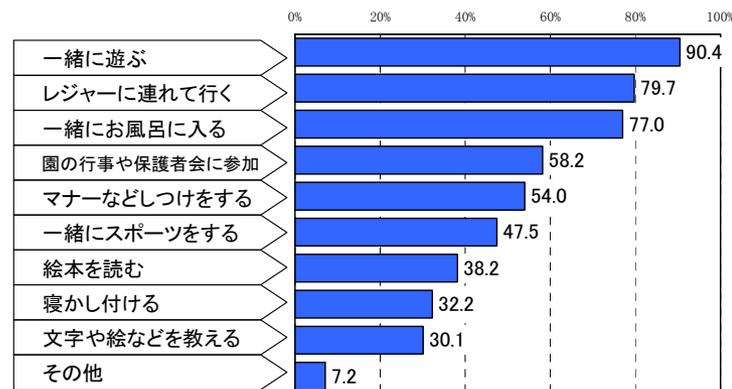
グラフ①子どもには厳しい方ですか、甘い方ですか？ (n=335)



グラフ②あなた(パパ)は子育てに関する情報をどこから収集していますか？ (複数回答) (n=335)



グラフ③パパの育児内容は？ (複数回答) (n=335)



園児とママの情報誌「あんふあん」 私立幼稚園に通う園児とママのための情報誌。子育て情報はもちろん、地域密着情報を発信し子育てライフをサポートしています。

(あんふあんサイト <http://www.enfanble.jp/>)

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

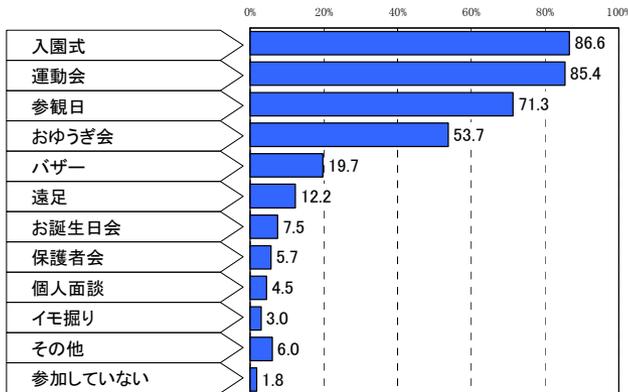
ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430

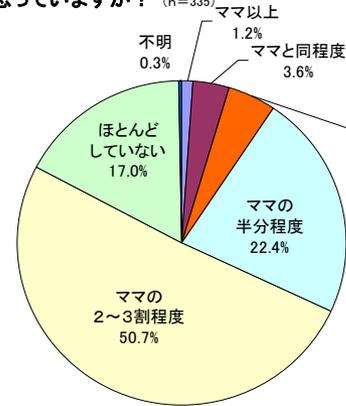


入園式・運動会の参加率は9割近くと、すでに“常識”(グラフ④)。ママに比べて育児を「ほとんどしていない」パパは、前年の10.7%から6.3ポイント増の17.0%に(グラフ⑤)。忙しいパパが増えているようだ。現状育児については、「もっと子育てしたいが忙しくてこれ以上無理」と考えるパパが57.6%と最も多い(グラフ⑥)。しかしながら、ママの(病気などのためではなく)息抜きのために子どもの面倒を見るパパは、前年より3.9ポイント増の83.9%(グラフ⑦)。毎日子どもの世話をしているママから見れば、少しの間パパに預けてリフレッシュするのも、また活力源になるのだろう。今どきのパパは、忙しい時間の合間を縫って、育児に協力的と言えよう。

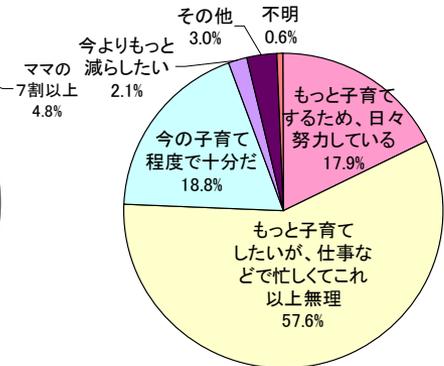
グラフ④幼稚園のどの行事に参加していますか？(複数回答) (n=335)



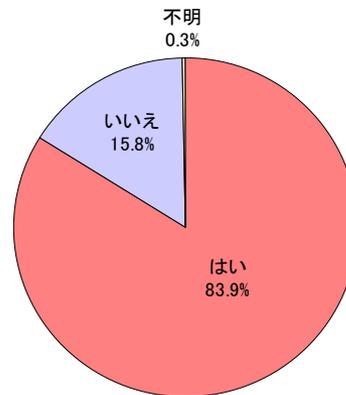
グラフ⑤育児をどれくらいしていると思っていますか？ (n=335)



グラフ⑥育児について、最も当てはまるものはどれですか？ (n=335)



グラフ⑦ママの息抜きのために、子どもの面倒を見ることがありますか？ (n=335)



園児とママの情報誌「あんふぁん」 私立幼稚園に通う園児とママのための情報誌。子育て情報はもちろん、地域密着情報を発信し子育てライフをサポートしています。

(あんふぁんサイト <http://www.enfanble.jp/>)

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430

<調査概要>

●2010年6月11日～6月30日実施の「あんふぁん」WEBアンケートの回答から335件を集計

<調査実施>あんふぁん